

学年	高校1年	教科	国語	科目	国語総合	単位数	4
教科書名	高等学校 改訂版 国語総合 (第一学習社)			副教材名	読んで見て覚える 重要古語単語 315 三訂版 (桐原書店) 新精選 古典文法(東京書籍) 精説 漢文 改訂版(いいずな書店)		
コース・クラス	スポーツ・芸能コース 芸能クラス			担当者名	松原 圭佑		

#### I. 目標

- 1 国語を適切に表現し的確に理解する能力を養成し、伝え合う力を高める。
- 2 思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。
- 3 国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

#### II. 授業のねらい

- 1 国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る。
- 2 目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めること。
- 3 相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めること。
- 4 文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させること。
- 5 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けること。

#### III. 授業の進め方

- 1 文章内容の理解を主とし、発問形式による教授方法やグループ学習によって学習を進める。
- 2 図説等の副教材を適宜活用し、確認テストを実施する。
- 3 古文では、『新精選 古典文法』を活用して文法事項を学習し、漢文では、『精説 漢文』を使用する。
- 4 「文芸コンクール」に向けての学習や準備も随時組み込む。

#### IV. 学習上の留意点

- 1 教科書の新しい単元に入る際は、予習として意味調べや漢字の書き取り、作品の通読を行うこと。
- 2 授業中には、板書や必要な情報をノートに書くこと。
- 3 配られた資料は、ノートに貼るかファイリングをし、必ず保存管理すること。
- 4 毎時教科書、ノート、副教材を授業前に準備し、机上に置いておくこと。

#### V. 定期試験（状況によって変動する場合がある）

- ・一学期中間試験……水の東西・児のそら寝・初見問題
- ・一学期期末試験……羅生門・蛇足・初見問題
- ・二学期中間試験……ネットが崩す公私の境・東下り・完璧・初見問題
- ・二学期期末試験……「間」の感覚・鏡・丹波に出雲といふ所あり・漢詩・初見問題
- ・学年末試験……自分の身体・城の崎にて・門出・初見問題

#### VI. 評価の方法

- 1 定期試験・進研模試・スタサポ・授業内容をしっかりと理解し、それを応用することができる。
- 2 小テスト…計画的に自学自習を行い、意欲的に小テストに臨むことができる。
- 3 提出物…積極的に授業に参加し、課題に対して期限を守り、真摯に取り組むことができる。

Ⅶ. 授業計画

学期	月	単元・学習項目		評価方法	到達目標
一学期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題演習(初見・評論)</li> <li>『水の東西』</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>『宇治拾遺物語』 児のそら寝</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験</li> <li>進研模試</li> <li>スタディサブリ到達度テスト</li> <li>小テスト</li> <li>提出物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>二項対立的な評論の読解方法を習得する。</li> <li>西洋文化と対比された、日本文化の特徴について理解を深める。</li> <li>登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。</li> <li>近代の代表的な小説を読み、短編小説についての理解を深める。</li> <li>時代背景を通して本文の内容を把握する。</li> <li>歴史的仮名遣い・用言・係り結びを理解する。</li> <li>漢文(返り点・送り仮名・書き下し文・置き字・再読文字・返読文字)を理解する。</li> <li>進研模試・スタディサブリ到達度テストに向けた初見問題演習に取り組む。</li> </ul>
	5				
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題演習(初見・小説)</li> <li>『羅生門』</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>『戦国策』 蛇足</li> <li>『精説 漢文』</li> <li>2 返り点</li> <li>3 送り仮名・書き下し文</li> <li>4 置き字</li> <li>5 再読文字</li> <li>6 返読文字</li> </ul>		
	7				
二学期	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>『ネットが崩す公私の境』</li> <li>問題演習(初見)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>『伊勢物語』 東下り</li> <li>『十八史略』 完璧</li> <li>『精説 漢文』</li> <li>① 否定</li> <li>④ 使役</li> <li>⑤ 受身</li> <li>問題演習(初見)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験</li> <li>進研模試</li> <li>スタディサブリ到達度テスト</li> <li>小テスト</li> <li>提出物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットのよい点・悪い点について、認識を深める。</li> <li>情報化社会についての問題意識を喚起する。</li> <li>インターネットや携帯電話などと切り離せなくなっている自らの生活を振り返り、そこにどのような問題があるか、考える。</li> <li>例を的確に読み取り、筆者の主張へと集約させる読解方法を習得する。</li> <li>日本人の意識構造や、日本の伝統について認識を深める。</li> <li>一人称の語りという表現形式の効果について考える。</li> <li>助動詞「き・けり・つ・ぬ・たり・り・ず」の知識が定着する。</li> <li>古文における敬語について理解する。</li> <li>和歌の基礎知識・漢詩の基礎知識の知識が定着する。</li> <li>漢文(否定・使役・受身・疑問・反語・詠嘆)を理解する。</li> <li>進研模試・スタディサブリ到達度テストに向けた初見問題演習に取り組む。</li> </ul>
	10				
	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>『「間」の感覚』</li> <li>『鏡』</li> <li>問題演習(初見)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>『徒然草』 丹波に出雲といふ所あり</li> <li>『精説 漢文』</li> <li>② 疑問・反語</li> <li>③ 詠嘆</li> <li>⑫ 漢詩</li> <li>問題演習(初見)</li> </ul>		
	12				
三学期	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>『自分の身体』</li> <li>『城の崎にて』</li> <li>問題演習(初見)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>『土佐日記』 門出</li> <li>古典事項 総復習</li> <li>『精説 漢文』</li> <li>⑥ 限定・累加</li> <li>⑦ 比較・選択・比況</li> <li>⑧ 仮定</li> <li>問題演習(初見)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験</li> <li>進研模試</li> <li>小テスト</li> <li>提出物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の構成を把握し、論の展開に即して正確に内容を読み取る。</li> <li>「像」としての自分の身体について考え、自己に対する理解を深める。</li> <li>近代の代表的な小説を読んで、小説についての理解を深める。</li> <li>生物の生と死について認識を深める。</li> <li>助動詞「る・らる・す・さす・しむ・む・むず・べし・なり」の知識が定着する。</li> <li>学習した文法などの定着を確認する。</li> <li>漢文(限定・累加・比較・選択・比況・仮定)を理解する。</li> <li>来年度の基礎学力到達度テストに向けた初見問題演習に取り組む。</li> </ul>
	2				

※ シラバスの内容については、理解度やその他の都合により変更することもあります。